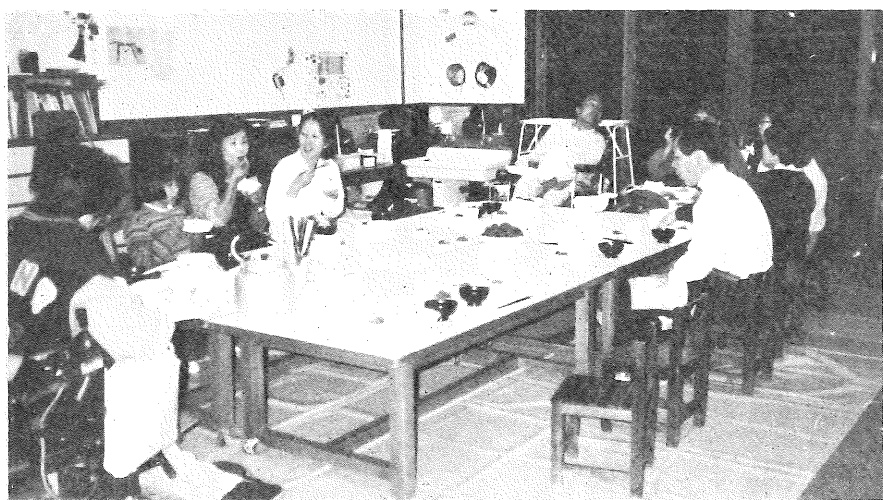


向島の催し、ニュースは  
愛隣館研修センターへお  
知らせ下さい。

# 向島・愛隣館研修センター ニュース

社会福祉法人イエス団  
愛隣館研修センター  
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151  
TEL 621-3849  
FAX 621-1579  
発行 平田 義  
編集 恵 大一郎



「みんなで食べるって  
とってもおいしいなあ！」

# 会食会だよ！ 全員集合

### 【参加者の声】

- ・「ニュータウンに、会食会のように気軽にいける食堂があればいいなあ」（車イスで一人暮らしをする男性）
- ・「一人で食べるより、楽しくみんなで食べれるのがいいですネ」（男性）
- ・「いつでもこんなに自由に使える場所があったらいいのになあ」（車イスで一人暮らしをする男性）
- ・「おいしいなあ」（男性）
- ・「たいして凝ったお料理も作れないのに、喜んで頂いてうれしいです。ますます腕に磨きをかけて頑張ります」（女性）
- ・「レパートリーを増やせるように、もう少し勉強をしたいと思います」（女性）
- ・「会食会は、向島のホームラン王です」（男性）

これまで約一年半、向島の住民（特に「障害」を持った方々やお年寄り等）が気軽に集え、必要な介助やサービスが受けられたり、地域の様々な問題を考える上での核となる生活センターの設置を目指して、向島に住む者が中心となって色々と取り組みを行ってきました。その一環として、様々な悩み事を抱える人々が出会える場作り、食事の準備が困難で栄養のバランスの偏りがちな一人暮らしの「障害」者等の食生活の改善を兼ねて、楽しい雰囲気のある会食会を昨年十月より月一回のペースで行って来ました。

「大勢の人が集まって、ワイワイやりながらの食事は最高」と参加者全員大満足で、「月一回では物足りない」との声も上がるほどです。ただ、食事の準備をするスタッフの手が足りないのが唯一の悩み。興味のある方、「わたしも参加してみたいな」と思われる方、また、食事の準備のお手伝いをして下さったり、「障害」者の方の食事の介護をして下さる方、お気軽に当センターの方までどしどしご連絡下さい。お待ちしております。

### 「これまでみんなで食べたお食事メニュー」

- ◎ 第一回（九〇年一〇月一八日）  
肉ジャガ、酢の物、味噌汁、ご飯、その他
- ◎ 第二回（九〇年十一月二〇日）  
トン汁、焼き魚、おひたし、ご飯、その他
- ◎ 第三回（九一年一月二九日）  
マリネ、海老フライ・串カツ、トン汁、酢のもの、大根あんかけ、しろあえ、ご飯、その他
- ◎ 第四回（九一年二月二六日）  
特製カレー、野菜サラダ、その他
- ◎ 第五回（九一年三月一九日）  
とろろそば、きつねうどん、野菜煮付け、その他
- ◎ 第六回（九一年四月二三日）  
タケノコご飯、豚のシヨウガ焼き、カボチャの煮付け、おすまし、その他
- ◎ 第七回（九一年五月一四日）  
野菜てんぷら、味噌汁、タケノコとふきの煮付け、ご飯、その他

# 【向島・公開連続福祉講座】

共に生きる

社会を目指して

向島ニュータウンには、様々な「障害」を持つ人達が、実際に住んでいます。しかし、地域での生活を支えるには、私達向島住民は、誰もが、たとえ、どんな「障害」を持っていても、暮らしていくことを願っています。そのことを実現するために、共に学び考え行動していく「講座」を開催する運びとなりました。



《 第二回 》

私達の住む向島ニュータウンには、「障害」者用の住宅が多数あり、そこで実際に多くの「障害」者が生活しています。その中には、生活の大部分に「介護」を必要とする方も多数おられます。にもかかわらず、そういった方々が安心して、地域での生活を営めるかという点、決してそのようないかなる状況にあるとは云えないのが現実なのではないでしょうか。

それは、介護サービス等の在宅福祉が充分でなかったり、「障害」者が、自分たちの生活の状況や、思いを訴えたくても、そのような機会が地域の中でなかなか見いだせなかつたり、地域の人々の支えを得るのが困難であったり、その他様々な原因によつてそうなってしまった原因とは云えないでしようか。

「障害」の有る無しに関わらず、地域で生き活きと、かつ安心して暮らしたいというのは、誰もが抱く自然な思いです。私達の住む向島が、そのような地域になればどの思

いから、これまで様々な方々と共に、様々なことに取り組み、地域での生活改善の核となる生活センター設置を目指しての運動もそうですし、この「講座」もそうした思いの一つの現われであると思えます。

これまで、四月、五月ですでに二回のプログラムを終えました。六月に第三回目のプログラムを予定しています。どうぞ、お気軽にご参加下さい。お待ちしております。

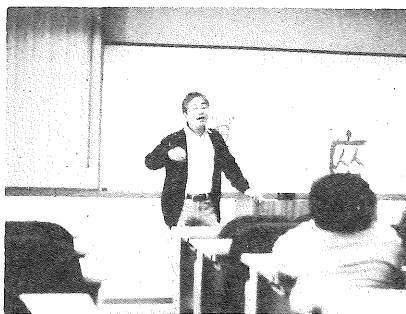
なお、第一回目と第二回目の講演の内容を録音したビデオテープと録音カセットが御座います。ご入り用の方は、当センターの方までご連絡下さい。無料で貸し出しをさせていただきます。

と、共に、様々なことに取り組み、地域での生活改善の核となる生活センター設置を目指しての運動もそうですし、この「講座」もそうした思いの一つの現われであると思えます。

これまで、四月、五月ですでに二回のプログラムを終えました。六月に第三回目のプログラムを予定しています。どうぞ、お気軽にご参加下さい。お待ちしております。

なお、第一回目と第二回目の講演の内容を録音したビデオテープと録音カセットが御座います。ご入り用の方は、当センターの方までご連絡下さい。無料で貸し出しをさせていただきます。

て頂きます。  
この講座について、何かご意見ご要望等が御座いましたら、是非ご連絡下さい。



《 第一回 》

## 【向島・公開連続福祉講座】概略

日程	☆演題と講師☆
4 / 15 (月) 午前10時～正午	演題 『さまざまな「障害」を持つ人達と共に…』 講師 多芸正之(とげいまさゆき)[障害者いこいの家「めぐみホーム」所長]
5 / 7 (火) 午後7時～9時	演題 『誰もが自立できるために—ケア付き住宅の実践に学ぶ—』 講師 永井良和(ながいよしかず)[京都市立呉竹養護学校教諭]
6 / 16 (日) 午後2時～4時	演題 『施設から地域の生活へ—在宅福祉の貧困を訴える—』 講師 柏木正行(かしわまさゆき)[障害者詩人・自立生活実践家]

★主催：向島公開連続福祉講座実行委員会

★後援：京都新聞社会福祉事業団・京都ボランティア協会

★会場：向島学生センター・セミナーハウス会議室  
(伏見区向島鷹場町104-1)

★参加費：1000円(三回通し)・400円(各一回)

★問合せ：向島・公開連続福祉講座実行委員会 ☎ 621-3849  
(愛隣館研修センター内)

# ぼくが調べた 向島の歴史

前号までのあらすじ

古代、向島の姿は、巨椋池（おぐらいけ）と呼ばれる巨大な遊水池でした。渡来人による開発によって、巨椋池周辺は、その姿を変えていきました。

さらに、巨椋池は、桂川や宇治川、木津川との合流点にもあたるため、水上交通の要所となり、人や物の中継地として賑わうようになっていきました。

十六世紀の末、豊臣秀吉

が天下統一の一環として行った文禄期の大土木工事により、巨椋池湖岸の地形は更に大きく変貌を遂げました。

秀吉は、京都の貴族達の動きを牽制する上で、巨椋池を含む伏見の重要性を認識しており、巨椋池とその周辺の開発も、そうした認識に基づいて推進されたのでした。

## 連載第6回 柏木正行

秀吉は槇島堤を築いて宇治川の流れを変え、伏見の城下町としての体裁を整えました。が、それ以外にも、小倉堤の築堤と、その堤上に大和街道を新設し、豊後橋（現観月橋）を架設し、その代わりに宇治橋を撤去したり、あるいは淀城を廃城にしたりしています。

### 秀吉の開発による 伏見の役割の増大

秀吉は、これら一連の事業を通して、奈良街道⇨宇治橋という古来からの陸路を否定し、さらに、南北交通の要所であり、水運の要所であった淀の存在を否定し、岡屋津の機能をも奪うことによって、水上交通・陸上交通共に、伏見の役割を大きくしたのでした。陸路は、大和街道⇨豊後橋⇨伏見に至り、水路は、宇治川、巨椋（おぐら）池⇨伏見新港⇨伏見へとつながり、すべての交通を伏見に集中したのでした。秀吉の死後、家康の命によって宇治橋は復興されたと云われますが、伏見を中心とした交通網は、江戸時代以降も変わりませんでした。

### 「太閤堤」

史料の関係で、多少、重複するかとも思いますが、大和街道の小倉堤、宇治川左岸の槇島堤の他、宇治川北岸の淀堤、桂川両岸の堤・宇治から小倉にいたる藪場堤・巨椋池西南の大池堤・中池堤、更にこれに付随する木津川右岸の堤などの一連の築堤事業も秀吉の時代に進められたと考えられ、これらの堤は総称して「太閤堤」とも云われています。

「ちよつといいい本・ご紹介」 著

ひしよ

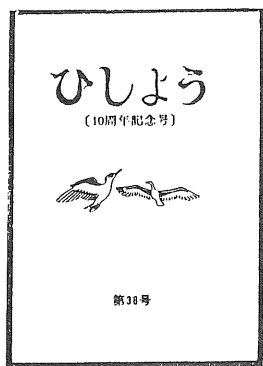
「十周年記念号」

まつした かつし  
松下 捷利

「骨溶解性血管腫」という全身の骨が溶けるという病気に闘いながら、現在十一街区で生活されている、松下捷利（かつし）さんが、これまで十年にわたって出されてきた月刊誌「ひしよ」の十周年記念号をこの度出版されました。

松下さんは、昨年にも「骨食い太郎」という童話風の自伝を出版されており、全国の病氣や様々な悩みに苦しんでいる人達に、「生きる」ことの意味を見つけての大切さを訴えておられます。

松下さんが、全身の骨が溶けていくという「骨溶解性疾患」と診断されたのは十七歳の時。以来、三十年間病魔と闘いながら、アイスクリーム配達、コック、製図工等と職業を変え、七九年の六月に京都に來られました。



す。

### 自然破壊の側面も

こうした秀吉の堤をはりめぐらすという巨椋池周辺の開発は、そのすべてが沿岸住民の利益になったとは言いがたく、

仕事が出来ないくらいに病氣が進行した松下さん、自分と同病の友に巡り合いたいとの思いから、八十年一月、初めて個人誌「ひしよ」を自費出版されました。それから十年間、「ひしよ」の読者は全国に広がりました。大勢の人に生きる活力を与え続けています。

悩みや苦しみの中にある時、この本はあなたに何かを示してくれることでしよう。是非、ご一読をお薦めします。（一冊七百四十円 問い合わせは当センターの方まで）

「松下さんから一言」  
「皆さん！病氣や悩み苦しみに負けず、元気で頑張りましょう。」

今の言葉を借りれば、自然破壊の側面もあったのではないかと、私は思っています。

（以下、次号）

# センターの活動を支えていただき

## どうもありがとうございます

### 1990年度 賛助会会員の皆様

これからもよろしく願いたします

一九九〇年度の愛隣館研修センター賛助会会員をお知らせいたします。なお、献金額は個人・団体計一四九名の方々からで、合計百二十万九千五百一十四円でした。ありがとうございます。

財政事情は決して楽とは云えませんが、皆様方に支えられて活動できることを感謝いたします。エレベーターの設置や生活センターの設立、食会等様々な活動の充実を目標に、より一層頑張っていきたいと思っております。

感謝をもってお名前を記させて頂きます。これからもより一層のご理解・ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

なお、無記名で献金くださった方のお名前が判らず、書き記すことが出来ませんので、悪しからずご容赦下さい。

#### ▶月定会員▶

山本忠義、法子・上田圭子、高橋幸子・森弘・谷口あさ子、江藤淑子・川越由美・広瀬悦子・高下恭子・君村千代子、玉井勝也・作野勲子・恵ヒロ子・松井知恵・石山愛子・松野正信、清美・後宮松代・岡一夫、愛子・林栄子・引原勝美・金子町子・高橋由記・近藤政一・藤田恭子・坂田幸作・成田信義・太田和代・中西勝彦・安野優美・三谷昭子、熊本絹江・斎恵子・木村淳子、酒井登茂代・石原和代。  
(二八名 計五六万四千円)

#### ▶年間会員▶

西田和可子・四方幸代・小池敬子・細見昌平・今井文子、福井達雨・浅野純・黒多健、五藤薫子・横野朝彦・近藤善彦・後藤聰・李清美・棚谷直巳・前島宗甫・宇山進・原忠和・志賀勉・シユベネマン、クラウス・河井あゆみ・村山盛嗣・杉原輝明・緒方彰・中村敏一・高野勝夫・角樋平一・森孝一・深田未来生・神谷幸子・小柳伸頭・菅根信彦・升崎章子・近藤孝子・千葉宣義、平田哲。

世光教会教会学校成人科・四貫島教会・大住世光教会・神戸保育専門学校・物部教会・一麦保育園・八幡ぶどうの木教会・南大阪教会・神崎川教会・京都西大路教会・京都復興教会・近江兄弟社学園宗教部・大津教会・平安教会・紫野教会・京都教会。  
(五一名・団体 計二七万九千五百円)

#### ▶指定献金 クリスマス献金▶

田中晃、千栄・広瀬悦子・武澤信夫・今井文子・島崎歳子・松井知恵・安野優美・田

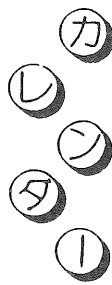
### トイ作り 向島教室

#### 工作教室

★自分で作る楽しさを体験  
何でもない木切れが自分たちの手で、おもちゃに変わっていくとき、買ったもので遊ぶだけでは味わえない「何か」を、子供達は味わうことでしょう。

★こんなものを作ります  
たこ、こま、竹馬、竹とんぼ、飛行機、ヨーヨー、水鉄砲、ゲームなどなど、いろいろな楽しいものを作ります。

★要項  
日時：毎週火曜日 PM 2時～4時 年長幼児、小学1,2,3年  
PM 3時～5時 小学4,5,6年  
場所：当センター(☎621-3849)  
月謝：4000円 + 材料費…幼～小3は500円  
小4～6は1000円  
(兄弟割引 十一人につき500円引き)  
指導：松島洋一  
(元中学校美術教諭。現在木の玩具デザインを本業とする。日本おもちゃ協議会。日本おもちゃデザイナー協会会員。)  
連絡先：伏見区桃山町伊賀67-1 桃山伊賀団地1-209 ☎621-4088 又は、センターまで



#### ◇キャンプ◇

中真弓・黒多健・田村早千枝、神谷幸子・鞍好子・長谷川道子・太田一・高橋幸子・林栄子・君村千代子・仙石栄子、小栗栖・三谷章矩、昭子・迫田敦夫・後宮忠正、西田和可子・近藤政一・田中恒夫、誠子・作野勲子・田中静江、下岡一夫、愛子・上田圭子、山磨通陽、大谷淑子、江藤淑子、内藤弘子、鳥羽彩子、樹下真一、湯浅可奈恵、松野清美、陣内範奈、中垣陽子、恵ヒロ子、山本忠義、法子、金子博、町子、榎本てる子、谷口あさ子、熊本絹江、信濃すゑを、中西勝彦、その他一名(無記名)

甘菜教会・錦林教会・西宮一麦教会・宇治教会・丸太町教会・八頭教会・世光教会・洛陽教会・西ヶ丘伝道所・同志社女子大学宗教部・向島あそぼう会。  
(七〇名・団体 計三六万六千一四円)

【順不同、敬称略】

土曜学校(一、二年生)：八月一日(木)～二日(金)、場所未定。  
日曜学校(小学三年生)：中学生)：八月一日(木)～一七日(土)、場所未定。  
あそぼう会：八月二〇日(火)～二二日(木)、場所：滋賀県安曇川町「京都新聞ふれあいハウス」。

※参加ご希望の方、詳しいことをご知りになりたい方、当センターの方までご連絡下さい。

♪私達にとってはやっかいな梅雨も、農作物にとっては恵みの雨。発想の転換でこの季節、心さわやかに過ごしましょう。皆さん、お元気で!